

教育委員会事業評価表

(評価対象 平成 26 年度)

○事業名及び予算額等

1 事業名	小学校施設整備事業（一色西部小学校・一色南部小学校校舎屋上テラス設置工事）					
2 担当課名	教育庶務課	担当者名	小倉隆弘	内線	4104	
3 予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	
	大事業	4	小学校施設整備事業	項	2	小学校費
	中事業			目	1	学校管理費
4 事業費 (当該事業に関する部分のみ)	予算額	39,032,000円		決算額	36,140,990円	
	主な支出 (科目、金額)	工事費	36,140,990円			

○事業の内容

5 事業の概要 (誰のために何を行うか)	地震などの災害時に津波が発生した場合、児童が一時避難場所として屋上を利用できるようにするためフェンスを設置。また屋上防水も傷んでおり、フェンスを設置する上で改修の必要があることから、併せて屋上のシート防水改修も行う。
6 事業の目的、効果	平成26年5月31日に愛知県が発表した南海トラフ地震被害予測の中で一色南部小学校、一色西部小学校の2校が新たに津波の浸水域となったことから、津波が発生した際に一時避難場所として校舎屋上を利用できるように改修を行う。 フェンスの設置により災害時に屋上が一時的避難場所として利用できるようになり、児童の安全が確保できる。

○事業の状況

7 事業を取巻く環境の今後の変化予測	今後も被害予測が変更される可能性があり、その都度対策を考え、改修などを行っていく必要がある。 また災害への対策であることから、年度途中でも予算を速やかに確保し対応していくことが必要となる。	
8 今後の事業の方向性	方向性	左の「方向性」を選択した理由
	②現状維持	災害対策であるため被害予測などにより、状況が変化した際には速やかに対応する必要がある。
9 事業の問題点	被害予測などが発表されてからの対応になるため、予め計画や予算措置をすることが不可能である。	

教育委員会事業評価表

(評価対象 平成 26 年度)

○事業名及び予算額等

1 事業名	学校図書館活用推進事業					
2 担当課名	学校教育課	担当者名	丹羽義男	内線	4200	
3 予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	
	大事業	19	学校図書館活用推進事業	項	1	教育総務費
	中事業			目	3	教育指導費
4 事業費 (当該事業に関する部分のみ)	予算額	18,783,000円		決算額	18,136,480円	
	主な支出 (科目、金額)	賃金	17,998,660円	負担金、補助及び交付金	52,800円	
		報償費	30,000円			
旅費		55,020円				

○事業の内容

5 事業の概要 (誰のために何を行うか)	本事業は、児童生徒の読書活動を推進するため、市独自に学校図書館司書を配置することにより、学校図書館の環境整備や読書指導、公立図書館との連絡調整等の充実を図る。26年度は、15人の学校図書館司書を市内小中学校に配置した。
6 事業の目的、効果	平成15年度より図書館司書配置を開始し、合併後も、23年度11人、24年度13人、25年度14人、26年度15人と増員を重ねてきた。特に、常駐している拠点校においては、その影響は大きく、季節感ある図書館環境や児童生徒への助言、指導により、貸出冊数も増加傾向がみられる。

○事業の状況

7 事業を取巻く環境の今後の変化予測	読書指導や調べ学習の充実を図るため、教員と司書、図書館ボランティア、または公立図書館との連携等、学校図書館及び図書館司書の担う役割はますます大きくなっている。近隣市においても、新たに配置を開始した市も見られる。一方で、資格、資質を併せ持つ人材は限られており、増員することは容易ではない。	
8 今後の事業の方向性	方向性	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	28年度には、全小中学校の約1/2にあたる17人配置を計画している。これは、当面の目標値である。
9 事業の問題点	今後、1/2配置を維持していくか、全校配置(35人)をめざして増員をしていくかについて、人材確保の問題、民間委託の可能性も含めて、検討していく。	

教育委員会事業評価表

(評価対象 平成 26 年度)

○事業名及び予算額等

1 事業名	西尾市子ども会育成連絡協議会補助事業					
2 担当課名	生涯学習課	担当者名	伊藤 和洋	内線	55-3515	
3 予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	
	大事業	4	社会教育関係団体補助事業	項	5	社会教育費
	中事業	0		目	1	社会教育総務費
4 事業費 (当該事業に関する部分のみ)	予算額	1,800,000円		決算額	1,800,000円	
	主な支出 (科目、金額)	球技大会	740,244円	(詳細は別紙のとおり)		
		ソフトボール親善大会	247,216円			
		子ども会大会	905,343円			

○事業の内容

5 事業の概要 (誰のために何を行うか)	対象者：市内在住の小学生で西尾市子ども会育成連絡協議会に加入する者 概要：西尾市子ども会育成連絡協議会が徴収する会費や本補助金等を活用し、球技大会（ドッジボール）、ソフトボール親善大会、子ども会大会などの各種事業を実施
6 事業の目的、効果	目的：市内の子ども達の親睦を深め、友情の輪の広まりを図ることや地域社会における子ども達の健全育成に大きな役割を果たす子ども会活動の助長を図ること。 効果：市内の子ども達の友情の輪が広まるとともに青少年の健全育成は元よりその育成者の育成にも大きな役割を果たしている。

○事業の状況

7 事業を取巻く環境の今後の変化予測	近年、西尾市におけるの小学生の人数はほぼ現状維持の状態にあるが、西尾市子ども会育成連絡協議会の加入者は若干減少傾向にある。しかし、他市町村の子ども会と比較すると依然としてかなり高い加入率が維持されており、今後も事業実施に関して大きな変化はないものと予測される。	
8 今後の事業の方向性	方向性	左の「方向性」を選択した理由
	②現状維持	子ども会活動は青少年の健全育成においてとても効果的な事業であり、その事業実施主体は子ども会育成連絡協議会しか考えられない。今後も加入者数の大幅な減少は見込まれないことから、現状の事業を継続実施する方向で考えている。
9 事業の問題点	現在、西尾市子ども会育成連絡協議会が開催している行事は、高学年を対象にした行事がほとんどである。現在の事業費において、全ての加入者が平等に参加できる事業を模索していただく必要があるのではないかと感じている。また、総事業費に対する補助金の率が高いため、自主的な事業運営についても検討してもらいたい。	

教育委員会事業評価表

(評価対象 平成 26 年度)

○事業名及び予算額等

1 事業名	西尾市市民運動会（幡豆地区）					
2 担当課名	スポーツ課	担当者名	神谷和寛	内線	54-0002	
3 予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費	
	大事業	06	各種団体等補助事業	項	06	保健体育費
	中事業	00		目	01	保健体育総務費
4 事業費 (当該事業に関する部分のみ)	予算額	1,200,000円		決算額	1,012,811円	
	主な支出 (科目、金額)	報償費	132,732円	消耗品費	460,088円	
		食糧費	139,548円	印刷製本費	98,470円	
		委託料等	20,473円	使用料及び賃借料	161,500円	

○事業の内容

5 事業の概要 (誰のために何を行うか)	「～3(さ)あーい5(こ)ー! 輝けはず大運動会!!～」をキャッチフレーズに保育園児から老人会までの幅広い年代の市民が参加し、個人、グループ、親子の単位で16競技を行う市民運動会。
6 事業の目的、効果	運動会を通じ、ふれあうことで参加者それぞれの一体感が生まれ、融和と協働を育む。 また、子供たちは体力の向上と、大人たちには健康増進を図る。

○事業の状況

7 事業を取巻く環境の今後の変化予測	<ul style="list-style-type: none"> ○新たに競技を取り入れるにも、その器材購入に多額の出費が必要となる。 ○参加する子供たちの指導者や保護者の世話の負担もある。 ○合併後は西尾市民全体を対象にグループ参加を募っているが、参加者数が伸びていない。 ○子供の数の減少により、子供会競技のチーム編成が心配される。 	
8 今後の事業の方向性	方向性	左の「方向性」を選択した理由
	③縮小	合併後4年が経過し、事業実績を参考に補助額を縮小する。必要に応じ、参加者負担金も検討する。
9 事業の問題点	<p>器材等に費用がかかるため、時代に則した種目が選定出来ない。 市民運動会の補助金の趣旨は、運動を主としており、参加者の飲食や娯楽的な催事は禁止している。その点で参加者のニーズとの意識の相違が若干認められる。 実行委員会では、参加者募集に力を入れているが、思うように集まっていない。今後、参加者募集に対するPRにも工夫・検討を要する。</p>	

教育委員会事業評価表

(評価対象 平成 26 年度)

○事業名及び予算額等

1 事業名	岩瀬文庫資料マイクロフィルム化事業				
2 担当課名	文化振興課	担当者名	鈴木とよ江	内線	56-2459
3 予算科目	会計	一般会計	款	10	教育費
	大事業	3	岩瀬文庫資料マイクロフィルム化事業	項	5 社会教育費
	中事業			目	9 岩瀬文庫費
4 事業費 (当該事業に関する部分のみ)	予算額	9,116,000円		決算額	9,070,856円
	主な支出 (科目、金額)	消耗品費	21,697円		
		委託料	8,990,839円		
		施設用備品	58,320円		

○事業の内容

5 事業の概要 (誰のために何を行うか)	平成8年度から岩瀬文庫蔵書の約8万冊の資料を委託事業としてマイクロフィルムに撮影している。現在、年間約14万コマを撮影している。このペースで継続した場合、平成37年度完了予定。
6 事業の目的、効果	資料をより良い状態で将来にわたって保存していくこと、また、利用者からの複写依頼に対応できるようにすることを目的とする。原資料への接触の回数が減ることでの外的影響による資料劣化を防ぐことができるとともに、直接来館がかなわないような利用者に対して複写依頼に応じることでの利用者の利便に供することができる。

○事業の状況

7 事業を取巻く環境の今後の変化予測	現在行っている全資料悉皆調査の成果を踏まえ、岩瀬文庫の目録データベースはWeb公開されており、今後更に利用と複写依頼が増加する可能性がある。デジタル技術の進歩。	
8 今後の事業の方向性	方向性	左の「方向性」を選択した理由
	②現状維持	資料の長期情報保存を目的とした場合、現状では、マイクロフィルムはもっとも安定的かつ低コストな方法である。来年度以降も継続して事業を進め、全資料のマイクロ化を目指します。
9 事業の問題点	今後、Web公開等の更なる活用のために、マイクロのデジタル化も検討。また、マイクロはモノクロのため、彩色された資料をより原資料に近い状態がかつ資料の保存も図ることのできるような形でのデジタル化も検討課題となる。	

教育委員会事業評価表

(評価対象 平成 26 年度)

○事業名及び予算額等

1 事業名	ブックスタート					
2 担当課名	図書館	担当者名	今井 聡子	内線	56-6200	
3 予算科目	会計	一般	款	10	教育費	
	大事業	6	図書館利用促進事業	項	5	社会教育費
	中事業	0		目	10	図書館費
4 事業費 (当該事業に関する部分のみ)	予算額	1,092,000円		決算額	873,647円	
	主な支出 (科目、金額)	消耗品費	873,647円			

○事業の内容

5 事業の概要 (誰のために何を行うか)	地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に、4か月児健診会場へ出向き、絵本を開く楽しい体験と一緒に一冊の絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持ちコミュニケーションを図ることの大切さを伝える。 また、フォローアップとして、図書館でおはなし会を開催したり、絵本の選び方・読み方などを紹介する冊子などにより乳幼児期より親子の読書への興味を広げるための働きかけをする。
6 事業の目的、効果	メッセージと絵本を渡し、保護者が4か月児からでも絵本をよるこぶことを体験し、子育てに絵本を活用してもらおう。 「西尾市子ども読書活動推進計画」に基づき、地域・家庭に対する子どもの読書推進と啓発をする。 子どもが健康に育ち、将来の西尾市を担う子どもたちの生きる力となる。

○事業の状況

7 事業を取巻く環境の今後の変化予測	少子化の中、益々子育て支援は重視されていく。子育て支援の要素もあるブックスタート事業は、ボランティア等と連携を図ってフォローアップを充実していくことが大切になってくる。	
8 今後の事業の方向性	方向性	左の「方向性」を選択した理由
	②現状維持	子どもは、読み聞かせを介しての肌の温もりと優しい語りかけを通して、人への信頼と心を通わせることを学ぶ。同時に家族にとっても心豊かな時間となり、親子関係や子育ての環境づくりにも大きな意味を持つ。このようなことをすすめるブックスタートは継続の必要があると思われる。
9 事業の問題点	ブックスタート事業の目的から、短期での目に見える分かりやすい効果を調査等ではっきりと示しづらい。	